

デーリー東北

2026年(令和8年)8月25日(火曜日) (8)

ものづくりの楽しさ実感 小学生対象、ロボット教室

八戸

小学生を対象とした「テクノルこどもロボット教室」が18～20日、八戸の組み立てやプログラミング、活性化教育支援ネットワ



ロボット作りに挑戦する子どもたち

ーク(長谷川明理事長)が主催。ロボット技術を学んでもらおうと、毎年実施している。

八戸工業大工学部システム情報工学科の本波洋講師と、同大工作技術センターの日影学工師のほか、学生4人が指導に当たった。

今回は要救助者に見立てた人形を発見、救出するロボット作りに挑戦。初日の18日は機械の組み立てや配線作業、走行プログラムづくりなどに熱心な様子で取り組んでいた。

市立八戸小6年の大山倫太郎さん(11)は「機械に興味があったので参加した。ロボットの本体に部品を取り付ける作業が難しかった」と話した。

19日はカメラの搭載や操縦訓練、最終日の20日は成果発表会が行われた。(千葉達也)

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。